



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月11日  
東

上場会社名 株式会社ジャムコ 上場取引所  
 コード番号 7408 URL <https://www.jamco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大喜多 治年  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 後藤 健太郎 (TEL) 042-503-9145  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	50,058	△45.3	△10,902	—	△11,756	—	△13,585	—
2020年3月期	91,535	8.9	1,807	△58.2	1,178	△64.2	605	△68.3

(注) 包括利益 2021年3月期 △13,064百万円(—%) 2020年3月期 219百万円(△89.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△506.46	—	△59.0	△10.6	△21.8
2020年3月期	22.58	—	2.0	1.1	2.0

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 52百万円 2020年3月期 △11百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	101,236	16,517	16.0	604.60
2020年3月期	120,184	30,373	24.8	1,112.58

(参考) 自己資本 2021年3月期 16,218百万円 2020年3月期 29,844百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	△11,615	△1,104	9,581	3,946
2020年3月期	△11,285	△2,570	16,953	7,167

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2020年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 20.00	百万円 536	% 88.6	% 1.8
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0	0.0	0.0
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		0.0	

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,500	△13.1	△3,980	—	△4,360	—	△3,120	—	△116.31

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	26,863,974株	2020年3月期	26,863,974株
② 期末自己株式数	2021年3月期	38,964株	2020年3月期	38,932株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	26,825,040株	2020年3月期	26,825,073株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	46,724	△44.1	△9,446	—	△10,009	—	△11,582	—
2020年3月期	83,528	9.3	1,707	△45.0	1,580	△37.7	1,039	△48.9
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	△431.76		—					
2020年3月期	38.73		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	92,594	17,623	19.0	656.99
2020年3月期	106,949	29,690	27.8	1,106.82

(参考) 自己資本 2021年3月期 17,623百万円 2020年3月期 29,690百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料5ページに記載の「1.(4)今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2021年5月25日に機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、当社コーポレートサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	5
(4) 今後の見通し .....	6
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等.....	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	7
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	8
(1) 連結貸借対照表 .....	8
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	10
(3) 連結株主資本等変動計算書.....	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書.....	14
(5) 連結財務諸表に関する注記事項.....	16
(継続企業の前提に関する注記) .....	16
(追加情報) .....	16
(連結損益計算書関係) .....	16
(セグメント情報等) .....	16
(1株当たり情報) .....	24
(重要な後発事象) .....	24

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度は、世界的な新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）拡大の影響による移動制限や経済活動の停滞などにより、各国経済は深刻な影響を受けました。その後、感染症のワクチン接種が開始されましたが、依然として感染症収束の兆しが見えないことから経済回復には厳しい状況が続いています。このようななかで、世界的な株高の影響もあり、ドル円為替相場は対米ドル円レート102円台を底に110円台まで円安方向へ進みました。

航空輸送業界では、感染症の世界的拡大の影響でかつてない規模の減便や運休などにより経営環境は大きく悪化しており、各エアラインは大幅な人員削減を余儀なくされています。経済活動の再開に合わせて、様々な感染対策をとったうえで国内線需要は少しずつ回復してきているものの、国際線需要については引き続き厳しい状況が続いています。又、航空機メーカーにおいても、航空需要の急激な落ち込みにより、ボーイング、エアバス共に大幅な減産が実施される状況になりました。

感染症の収束時期が不明な状況下、当社グループでは、当面は厳しい経営環境が続くものと想定し、将来の航空需要回復に備え、全社レベルで業務プロセスの改革、生産体制の効率化を推進し、品質と収益力の向上を目指すと共に、人員及び経費の削減、投資抑制、拠点整理、在庫削減等の経営の効率化を行いました。又、感染防止対策を徹底すると共に、在宅勤務、シフト勤務の導入、職場における作業エリアの分散など接触率の低減に努め、急激な仕事量減少については一時帰休やグループ外出向などにより臨機応変に対処しました。

航空機内装品等製造関連・航空機シート等製造関連においては、航空需要の急激な落ち込みに対応するため、生産計画の緊急見直しを行うと共に、生産拠点の再編を行いました。又、お客様が航空機に搭乗する際に抱く不安を少しでも解消できるように、清潔で衛生的なキャビン作りのための製品開発にも取り組みました。受注高は、航空需要の急激な落ち込みから航空機メーカーの大幅な減産が実施されたことや、エアラインからの受注の一部延期やキャンセルにより、前期に比較して大きく下回る結果となりましたが、1月以降には、ワクチン接種の効果が確認されたことから、エアラインから感染症拡大の収束を見込んだ引き合いや受注が増加しています。

航空機器等製造関連においては、生産性改善の取組みを進めると共に、これまで培った加工技術を生かし、内装品関連を始めとした部品の内製化を進めました。又、熱可塑CFRPを活用した航空機用軽量機体部材の開発を進めています。

航空機整備等関連においては、飛行安全の確保と品質向上の取組みを継続すると共に、エアライン、官公庁向け整備の受注に努め、安定した収益を上げることのできる事業基盤の構築を目指しました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高 50,058百万円（前期比 41,477百万円減）、営業損失 10,902百万円（前期は、営業利益 1,807百万円）、経常損失 11,756百万円（前期は、経常利益 1,178百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失 13,585百万円（前期は、親会社株主に帰属する当期純利益 605百万円）となりました。

なお、当連結会計年度末に次期以降の完成工事に対する工事損失引当金を 4,102百万円計上しています。この工事損失引当金による期間損益への影響は、当第4四半期連結会計期間において売上原価 778百万円の減少（第3四半期連結累計期間末の工事損失引当金は 4,881百万円）、又、当連結会計年度においては売上原価 494百万円の増加（前連結会計年度末の工事損失引当金は 3,607百万円）となりました。

グループ全体の販売費及び一般管理費、営業外損益、特別損益、法人税等合計の状況は次のとおりです。

販売費及び一般管理費は、人件費、保証工事費、試験研究費、販売手数料の減少などにより 6,801百万円（前期比 1,835百万円減）となりました。

営業外損益は、前連結会計年度末よりも為替相場が円高で推移し為替差損が増加したことなどにより 853百万円の損（前期は、629百万円の損）となりました。

特別損益は、航空機内装品等製造関連、航空機シート等製造関連及び航空機整備等関連において、顧客との契約上の補償条項に基づき協議を重ねた結果、損害補償費として 2,612百万円を計上したことに加え、航空機内装品等製造関連において、一部製品の補修・交換に係る費用として製品保証引当金繰入額 1,166百万円を計上しました。又、感染症関連としては、一時帰休による雇用調整助成金等の助成金収入 1,094百万円を計上しましたが、一時帰休による固定費等の操業費用を新型コロナウイルス感染症関連損失として 1,771百万円計上しています。更に、感染症拡大による航空需要の低迷から事業規模の適正化を図るため、生産拠点の整理集約などに関連して発生した退職者の割増退職金 461百万円を計上したことなどにより、4,980百万円の損（前期は、279百万円の損）となりました。

法人税等合計は、今後の見通しを踏まえ繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、△3,188百万円（前期は265百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[航空機内装品等製造関連]

当事業では、感染症拡大による影響で航空機メーカーは減産や生産スケジュール変更を余儀なくされたことから、ギャレー及びラバトリーの出荷が減少したことに加え、航空機の運航が減少したことにより、エアライン向けの客室改修用キットやスペアパーツ販売が減少し、前期に比べ売上高は減少しました。又、経常損益については、売上高減少などにより経常損失となりました。

この結果、航空機内装品等製造関連は、売上高 31,108百万円（前期比 29,970百万円減）、経常損失 8,073百万円（前期は、経常利益 3,107百万円）となりました。

[航空機シート等製造関連]

当事業では、感染症拡大による影響で一部プログラムの出荷が翌期に繰り延べられたことや顧客による一部キャンセルなどにより、前期に比べ売上高は減少しました。又、経常損益については、売上高減少などにより経常損失となりました。

この結果、航空機シート等製造関連は、売上高 8,090百万円（前期比 7,903百万円減）、経常損失 3,593百万円（前期は、経常損失 2,499百万円）となりました。

[航空機器等製造関連]

当事業では、感染症拡大による影響で航空機メーカーは減産や生産スケジュールの変更を余儀なくされたことから、民間航空機向け製品の炭素繊維構造部材や航空機エンジン部品の出荷が減少し、前期に比べ売上高は減少しました。又、経常損益については、売上高減少などにより経常損失となりました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 4,330百万円（前期比 2,002百万円減）、経常損失 394百万円（前期は、経常利益 6百万円）となりました。

[航空機整備等関連]

当事業では、機体整備においては一部プログラムの出荷が翌期に繰り延べられたこと、整備品整備においては感染症拡大による影響でエアラインからのホイール、ブレーキなどの受注が減少したことにより、前期に比べ売上高は減少しました。又、経常利益については、売上高減少などにより前期に比べ減少しました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高 6,528百万円（前期比 1,600百万円減）、経常利益 304百万円（前期比 263百万円減）となりました。

[その他]

その他の区分には、連結子会社の株式会社オレンジジャムコの事業を含んでおり、航空機内装品等製造関連の補助作業等セグメント間の内部取引が中心です。

その他の区分では、売上高 0百万円（前期比 0百万円減）、経常利益 0百万円（前期は、経常損失 4百万円）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産・負債・純資産の状況)

当連結会計年度末の資産合計は 101,236百万円となり、前連結会計年度末に比べ 18,947百万円減少しました。内、流動資産については、受取手形及び売掛金の減少（前期末比 10,806百万円減）、仕掛品の減少（前期末比 4,448百万円減）、現金及び預金の減少（前期末比 3,415百万円減）等により流動資産合計で前連結会計年度末に比べ 20,799百万円減少しました。又、固定資産については、当連結会計年度の投資案件が比較的少なかったことから有形固定資産の減少（前期末比 983百万円減）、無形固定資産の減少（前期末比 306百万円減）等がありましたが、投資その他の資産の増加（前期末比 3,142百万円増）により固定資産合計で前連結会計年度末に比べ 1,851百万円増加しました。

負債合計は 84,719百万円となり、前連結会計年度末に比べ 5,091百万円減少しました。主な要因は、短期借入金の増加（前期末比 11,731百万円増）等がありましたが、支払手形及び買掛金の減少（前期末比 7,667百万円減）、電子記録債務の減少（前期末比 6,068百万円減）、前受金の減少（前期末比 3,127百万円減）、賞与引当金の減少（前期末比 1,366百万円減）等によるものです。

純資産合計は 16,517百万円となり、前連結会計年度末に比べ 13,856百万円減少しました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純損失や配当金の支払などによる利益剰余金の減少（前期末比 14,122百万円減）等によるものです。この結果、自己資本比率は16.0%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより、前連結会計年度末に比べ 3,220百万円減少しました。

## [営業活動によるキャッシュ・フロー]

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、11,615百万円のキャッシュ・アウトフローとなり、前連結会計年度に比べ 329百万円支出が増加しました。これは、売上債権の回収による増加がありました。税金等調整前当期純利益の減少等によるものです。

## [投資活動によるキャッシュ・フロー]

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,104百万円のキャッシュ・アウトフローとなり、前連結会計年度に比べ 1,466百万円支出が減少しました。これは、有形固定資産の取得による支出等が減少したこと等によるものです。

## [財務活動によるキャッシュ・フロー]

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、9,581百万円のキャッシュ・インフローとなり、前連結会計年度に比べ 7,372百万円収入が減少しました。

#### (4) 今後の見通し

現時点において感染症拡大の収束時期は依然として不透明な状況が続いており、当社グループが関連する航空輸送業界では、感染症拡大の影響により旅客需要の急減を受け、世界のエアラインの経営環境は大きく悪化しています。又、航空機メーカーは、航空需要の急減を受け大幅な減産を余儀なくされていますが、感染症のワクチン接種が開始されたことなどにより、航空需要は2021年度から徐々に回復することを予想しています。

このようななかで当社グループでは、2021年度は未だ厳しい経営環境が続くと想定し、将来の航空需要回復に備え全社レベルで業務プロセスの改革、生産体制の効率化を推進し、品質と収益力の向上を目指すと共に、経費削減、投資抑制を図ることにより筋肉質な事業構造を構築し、収益力の改善に努めてまいります。

こうした状況を踏まえ、2022年3月期の連結業績見通しは、売上高 43,500百万円、営業損失 3,980百万円、経常損失 4,360百万円、親会社株主に帰属する当期純損失 3,120百万円を見込んでいます。なお、前提となる為替レートは、1米ドル当り103円としています。

又、当社は株主配当に係る基本方針として、効率的経営に努め収益向上を図ることで、株主の皆様には安定、且つ継続的に還元することを旨とし、又、当面の間、連結配当性向20～30%を目安に配当額を決定するものとしておりますが、感染症拡大の影響に伴い、当社グループの業績は大きく悪化しており、誠に遺憾ながら当期の配当は無配とさせていただきます。株主の皆様には、深くお詫び申し上げますと共に、可能な限り早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

#### (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは感染症拡大により、売上高が減少する等、甚大な影響を受けました。このような未曾有の状況下で当社グループは、航空需要の急激な落ち込みに対応するため、生産計画の緊急見直しを行うと共に、生産拠点の再編を行い、人員削減等による経費削減、投資抑制を進め、在庫削減による経営の効率化に取り組んでいます。急激な仕事量減少については一時帰休やグループ外出向などにより臨機応変に対処しています。

また、メインバンクをはじめとした取引金融機関と緊密な連携関係を高め、追加借入枠や融資の継続など引き続き支援が得られており、当面の資金繰りに問題はないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しています。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を勘案の上、慎重に検討を進めていく予定です。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,690,990	5,275,305
受取手形及び売掛金	31,898,770	21,092,693
商品及び製品	1,422,398	657,983
仕掛品	30,328,978	25,880,634
原材料及び貯蔵品	20,500,595	20,869,999
未収消費税等	520,946	262,304
その他	4,378,388	3,005,708
貸倒引当金	△8,504	△111,660
流動資産合計	97,732,564	76,932,968
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,283,085	19,381,099
減価償却累計額	△12,519,980	△12,991,292
建物及び構築物(純額)	6,763,105	6,389,807
機械装置及び運搬具	10,358,913	10,243,111
減価償却累計額	△8,367,749	△8,370,600
機械装置及び運搬具(純額)	1,991,164	1,872,511
土地	3,440,275	3,417,211
リース資産	1,060,811	1,097,980
減価償却累計額	△454,797	△606,365
リース資産(純額)	606,013	491,615
建設仮勘定	130,138	158,261
その他	7,991,862	7,846,307
減価償却累計額	△7,156,519	△7,393,410
その他(純額)	835,343	452,896
有形固定資産合計	13,766,040	12,782,303
無形固定資産		
ソフトウェア	1,245,678	1,126,256
リース資産	605,706	509,997
その他	147,736	56,111
無形固定資産合計	1,999,120	1,692,365
投資その他の資産		
投資有価証券	453,439	580,714
長期前払費用	45,798	33,324
差入保証金	85,597	81,015
繰延税金資産	6,063,002	9,103,337
その他	38,982	30,839
投資その他の資産合計	6,686,819	9,829,231
固定資産合計	22,451,980	24,303,899
資産合計	120,184,545	101,236,868

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,394,529	3,726,562
電子記録債務	9,551,128	3,482,624
短期借入金	36,386,966	48,118,560
1年内返済予定の長期借入金	1,200,000	1,000,000
リース債務	380,126	297,701
未払費用	1,306,804	888,178
未払法人税等	302,208	54,034
未払消費税等	155,762	47,132
前受金	8,644,784	5,516,822
賞与引当金	1,642,946	276,135
工事損失引当金	3,607,749	4,102,485
その他	2,376,776	3,862,881
流動負債合計	76,949,782	71,373,119
固定負債		
長期借入金	3,500,000	3,000,000
リース債務	794,172	614,000
退職給付に係る負債	7,282,672	6,919,824
長期末払金	253,902	173,788
損害補償損失引当金	987,196	1,452,434
製品保証引当金	-	1,166,789
繰延税金負債	43,320	19,431
固定負債合計	12,861,263	13,346,268
負債合計	89,811,045	84,719,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,309,484	4,318,925
利益剰余金	20,483,085	6,360,683
自己株式	△31,175	△31,205
株主資本合計	30,121,288	16,008,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104,663	156,385
為替換算調整勘定	△41,674	17,776
退職給付に係る調整累計額	△339,306	36,052
その他の包括利益累計額合計	△276,318	210,214
非支配株主持分	528,529	298,969
純資産合計	30,373,500	16,517,480
負債純資産合計	120,184,545	101,236,868

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	91,535,360	50,058,297
売上原価	81,090,903	54,159,277
売上総利益又は売上総損失(△)	10,444,456	△4,100,980
販売費及び一般管理費	8,636,882	6,801,402
営業利益又は営業損失(△)	1,807,573	△10,902,382
営業外収益		
受取利息	47,071	12,064
受取配当金	5,300	1,949
持分法による投資利益	-	52,019
受取保険金	52,110	87,090
助成金収入	195,413	87,356
その他	84,886	109,781
営業外収益合計	384,782	350,263
営業外費用		
支払利息	421,684	394,100
為替差損	111,896	486,877
持分法による投資損失	11,396	-
売掛債権譲渡損	126,958	20,481
支払補償費	266,108	131,954
その他	76,242	170,550
営業外費用合計	1,014,287	1,203,965
経常利益又は経常損失(△)	1,178,069	△11,756,084
特別利益		
固定資産売却益	-	14,454
受取保険金	60,000	-
助成金収入	-	1,094,284
特別利益合計	60,000	1,108,738
特別損失		
固定資産処分損	67,165	44,501
減損損失	15,125	32,551
災害損失	13,306	-
品質関連損失	244,243	-
新型コロナウイルス感染症関連損失	-	1,771,431
割増退職金	-	461,668
製品保証引当金繰入額	-	1,166,789
損害補償費	-	2,612,737
特別損失合計	339,841	6,089,679
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	898,227	△16,737,025
法人税、住民税及び事業税	360,986	22,324
法人税等調整額	△95,911	△3,210,667
法人税等合計	265,075	△3,188,343
当期純利益又は当期純損失(△)	633,152	△13,548,682
非支配株主に帰属する当期純利益	27,319	37,218
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	605,832	△13,585,900

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	633,152	△13,548,682
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61,344	51,721
繰延ヘッジ損益	△50,597	-
為替換算調整勘定	△179,580	56,848
退職給付に係る調整額	△122,215	375,359
その他の包括利益合計	△413,738	483,929
包括利益	219,414	△13,064,752
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	208,155	△13,099,368
非支配株主に係る包括利益	11,258	34,615

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,359,893	4,309,484	20,413,755	△30,968	30,052,165
当期変動額					
剰余金の配当			△536,502		△536,502
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			605,832		605,832
自己株式の取得				△207	△207
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					
過年度持分変動にかかる税効果調整					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	69,329	△207	69,122
当期末残高	5,359,893	4,309,484	20,483,085	△31,175	30,121,288

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	166,007	50,597	121,844	△217,091	121,358	541,951	30,715,475
当期変動額							
剰余金の配当							△536,502
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)							605,832
自己株式の取得							△207
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							-
過年度持分変動にかかる税効果調整							-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△61,344	△50,597	△163,519	△122,215	△397,676	△13,422	△411,098
当期変動額合計	△61,344	△50,597	△163,519	△122,215	△397,676	△13,422	△341,975
当期末残高	104,663	-	△41,674	△339,306	△276,318	528,529	30,373,500

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,359,893	4,309,484	20,483,085	△31,175	30,121,288
当期変動額					
剰余金の配当			△536,500		△536,500
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△13,585,900		△13,585,900
自己株式の取得				△30	△30
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△8,474			△8,474
過年度持分変動にかかる税効果調整		17,915			17,915
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	9,440	△14,122,401	△30	△14,112,991
当期末残高	5,359,893	4,318,925	6,360,683	△31,205	16,008,296

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	104,663	-	△41,674	△339,306	△276,318	528,529	30,373,500
当期変動額							
剰余金の配当							△536,500
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)							△13,585,900
自己株式の取得							△30
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							△8,474
過年度持分変動にかかる税効果調整							17,915
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	51,721	-	59,451	375,359	486,532	△229,560	256,971
当期変動額合計	51,721	-	59,451	375,359	486,532	△229,560	△13,856,019
当期末残高	156,385	-	17,776	36,052	210,214	298,969	16,517,480

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	898,227	△16,737,025
減価償却費	2,821,169	2,468,082
減損損失	15,125	32,551
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,170	102,365
賞与引当金の増減額(△は減少)	△53,699	△1,366,811
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△173,441	494,736
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△32,182	96,469
損害補償損失引当金の増減額(△は減少)	65,654	465,238
製品保証引当金の増減額(△は減少)	-	1,166,789
品質関連損失引当金の増減額(△は減少)	△67,817	-
受取利息及び受取配当金	△52,371	△14,014
支払利息	421,684	394,100
為替差損益(△は益)	△148,061	201,494
持分法による投資損益(△は益)	11,396	△52,019
固定資産処分損益(△は益)	67,165	30,046
新型コロナウイルス感染症関連損失	-	1,771,431
割増退職金	-	461,668
助成金収入	-	△1,094,284
その他の営業外損益(△は益)	128,340	38,757
売上債権の増減額(△は増加)	△9,428,402	10,821,328
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,657,149	4,953,045
仕入債務の増減額(△は減少)	3,270,353	△13,742,501
立替金の増減額(△は増加)	△287,682	△442,301
前受金の増減額(△は減少)	△2,260,409	△3,114,553
その他	△961,384	2,034,065
小計	△9,418,313	△11,031,338
利息及び配当金の受取額	52,372	14,014
利息の支払額	△421,005	△397,159
法人税等の支払額	△1,498,599	△200,527
営業活動によるキャッシュ・フロー	△11,285,545	△11,615,010

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,080,690	△1,038,912
有形固定資産の売却による収入	6,358	62,991
投資有価証券の取得による支出	△952	△706
貸付金の回収による収入	2,427	1,166
定期預金の増減額 (△は増加)	217,480	212,120
その他の支出	△724,160	△352,883
その他の収入	8,681	11,607
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,570,856</b>	<b>△1,104,616</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	80,002,386	57,480,864
短期借入金の返済による支出	△60,860,423	△45,978,836
長期借入れによる収入	1,000,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△2,300,000	△1,200,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△248,070
リース債務の返済による支出	△327,624	△408,648
自己株式の取得による支出	△207	△30
配当金の支払額	△535,919	△539,209
非支配株主への配当金の支払額	△24,680	△24,580
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>16,953,530</b>	<b>9,581,488</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>24,071</b>	<b>△82,567</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,121,200	△3,220,705
現金及び現金同等物の期首残高	4,046,170	7,167,370
現金及び現金同等物の期末残高	7,167,370	3,946,665

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り

当社グループでは、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、連結計算書類作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。

会計上の見積りの算定において、航空旅客需要が2024年頃にコロナ禍以前の水準に回復することを前提に売上計画を策定しており、利益面については、規模適正化の効果などにより2023年3月期にコロナ禍以前の2020年度3月期の水準に回復する見込みに基づいて行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期等の見積りには不確実性を伴うため、実際の結果はこれらの仮定と異なる場合があります。

(連結損益計算書関係)

助成金収入

一時帰休による雇用調整助成金等を助成金収入 1,094,284千円として特別利益に計上しています。

新型コロナウイルス感染症関連損失

世界的な感染症拡大や政府による緊急事態宣言の影響等により、操業が著しく低下し、一時帰休による固定費等の操業費用を新型コロナウイルス感染症関連損失として 1,771,431千円を特別損失に計上しています。

割増退職金

新型コロナウイルス感染症拡大による航空需要の低迷から事業規模の適正化を図るため、生産拠点の整理集約に関連して発生した退職者の割増退職金 461,668千円を特別損失に計上しています。

製品保証引当金繰入額

航空機内装品等製造関連において、一部製品の補修・交換に係る費用として製品保証引当金繰入額 1,166,789千円を特別損失に計上しています。

損害補償費

航空機内装品等製造関連、航空機シート等製造関連及び航空機整備等関連において、顧客との契約上の補償条項に基づき協議を重ねた結果、損害補償費として 2,612,737千円を特別損失に計上しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社グループにおける報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業本部と3つの事業部（航空機内装品・シート製造事業部、航空機器製造事業部、航空機整備事業部）で構成され、各事業部は取り扱い製品・サービスについて、それぞれ独立した経営戦略を立案し、事業活動を展開しております。当社グループは事業部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されておりますが、報告セグメントは「航空機内装品等製造関連」、「航空機シート等製造関連」、「航空機器等製造関連」及び「航空機整備等関連」の4つを報告セグメントとしております。

「航空機内装品等製造関連」は、旅客機用ギャレー(厨房設備)、ラバトリー(化粧室)等の製造及び販売を主体と

しております。「航空機シート等製造関連」は、旅客機用シート等の製造及び販売を主体としております。「航空機器等製造関連」は、熱交換器、航空機エンジン部品等各種航空機搭載機器、炭素繊維構造部材を主体とした製品製造と販売を行っております。「航空機整備等関連」は、リージョナル機、中小型飛行機、ヘリコプターなどの機体整備及び改造、並びにこれら航空機に搭載される装備品の修理などを行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機整備 等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	61,078,579	15,994,367	6,333,087	8,129,269	91,535,304	56	91,535,360
セグメント間の内部売上高又は振替高	478,062	196,273	28,636	41,761	744,733	109,492	854,226
計	61,556,642	16,190,640	6,361,723	8,171,031	92,280,038	109,548	92,389,586
セグメント利益 又は損失(△)	3,107,854	△2,499,623	6,623	567,616	1,182,471	△4,402	1,178,069
セグメント資産	79,648,928	20,453,910	10,360,913	9,683,719	120,147,471	37,074	120,184,545
その他の項目							
減価償却費	1,823,373	235,737	438,488	323,569	2,821,169	-	2,821,169
受取利息	44,986	970	598	515	47,071	-	47,071
支払利息	262,123	102,336	31,202	26,021	421,684	-	421,684
持分法投資利益又は損失(△)	-	-	-	△11,396	△11,396	-	△11,396
有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用の増加額	1,715,880	62,513	389,361	219,299	2,387,054	-	2,387,054

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機整備 等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	31,108,073	8,090,920	4,330,379	6,528,918	50,058,292	5	50,058,297
セグメント間の内部売上高又は振替高	475,708	201,209	2,448	13,413	692,778	107,175	799,954
計	31,583,782	8,292,129	4,332,827	6,542,331	50,751,070	107,181	50,858,251
セグメント利益又は損失(△)	△8,073,893	△3,593,268	△394,159	304,307	△11,757,013	929	△11,756,084
セグメント資産	66,892,026	14,862,708	8,851,291	10,592,118	101,198,145	38,722	101,236,868
その他の項目							
減価償却費	1,605,734	110,177	419,697	332,472	2,468,082	-	2,468,082
受取利息	11,642	179	120	122	12,064	-	12,064
支払利息	250,243	92,378	25,143	26,335	394,100	-	394,100
持分法投資利益又は損失(△)	-	-	-	52,019	52,019	-	52,019
有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用の増加額	582,284	10,126	238,440	259,858	1,090,710	-	1,090,710

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

## 4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	92,280,038	50,751,070
「その他」の区分の売上高	109,548	107,181
セグメント間取引消去	△854,226	△799,954
連結財務諸表の売上高	91,535,360	50,058,297

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,182,471	△11,757,013
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△4,402	929
連結財務諸表の経常利益	1,178,069	△11,756,084

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	120,147,471	101,198,145
「その他」の区分の資産	37,074	38,722
連結財務諸表の資産合計	120,184,545	101,236,868

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	2,821,169	2,468,082	-	-	-	-	2,821,169	2,468,082
有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用の増加額	2,387,054	1,090,710	-	-	-	-	2,387,054	1,090,710

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米		アジア・オセアニア		ヨーロッパ	合計
	内、米国		内、シンガポール			
21,963,709	39,906,292	39,151,817	15,307,167	7,888,193	14,358,190	91,535,360

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	アジア・オセアニア	ヨーロッパ	合計
10,685,644	2,217,399	862,995	-	13,766,040

## 3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
MITSUBISHI INTERNATIONAL CORP.	35,420,279	航空機内装品等製造関連
ITOCHU Singapore Pte, Ltd.	5,701,707	航空機内装品等製造関連及び 航空機シート等製造関連

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米		アジア・オセアニア		ヨーロッパ	合計
	内、米国		内、シンガポール			
13,305,131	18,190,328	18,026,798	10,554,269	7,708,937	8,008,567	50,058,297

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	アジア・オセアニア	ヨーロッパ	合計
9,913,451	2,172,680	696,171	-	12,782,303

## 3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
MITSUBISHI INTERNATIONAL CORP.	16,291,120	航空機内装品等製造関連
ITOCHU Singapore Pte, Ltd.	7,011,973	航空機内装品等製造関連及び 航空機シート等製造関連

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機整備 等関連	計		
減損損失	-	-	-	15,125	15,125	-	15,125

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機整備 等関連	計		
減損損失	-	-	16,754	15,797	32,551	-	32,551

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,112.58 円	604.60 円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	22.58 円	△506.46 円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	潜在株式が存在しないため 記載していません。	潜在株式が存在しないため 記載していません。

(注) 1. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	605,832	△13,585,900
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	605,832	△13,585,900
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,825	26,825

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当連結会計年度末 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	30,373,500	16,517,480
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	528,529	298,969
(うち非支配株主持分(千円))	(528,529)	(298,969)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	29,844,970	16,218,511
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通 株式の数(千株)	26,825	26,825

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。